

令和3年度実施 指定管理者モニタリングシート

施設の概要			
施設の名称	愛荘町立ハーティーセンター秦荘	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	一般社団法人 愛荘町文化協会	選定方法	公募
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (1年度目)	点検日	令和3年5月19日
施設設置目的	町民の文化の向上と芸術の振興を図るため		
施設規模	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 地上4階(平成6年建設)、延床面積5523.03㎡ 大・中ホール、サークル室(6室)、大広間、調理実習室など		
業務概要	文化芸術活動の振興を図るための各種業務および情報提供と展示 ホールおよび付属施設の提供 ハーティーセンターの目的を達成するため、その他町教委が必要と認める業務		

収支状況および利用状況						
	①	②	③	対前年度増減		過去平均
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	①・②	②・③	
収入(千円)	36,067	35,477	34,835	▲ 590	▲ 642	35,460
指定管理料	29,861	31,160	30,115	1,299	▲ 1,045	30,379
使用料	3,579	2,443	1,787	▲ 1,136	▲ 656	2,603
その他	2,627	1,873	276	▲ 754	▲ 1,597	1,592
補助金	—	—	2,657	—	—	—
支出(千円)	36,067	35,477	33,660	▲ 590	▲ 1,817	35,068
利用人数	33,241	28,289	16,852	▲ 4,952	▲ 11,437	26,127

自己評価および施設所管課評価		
指定管理者	自己評価	当館のあらたな活用として企画した『ハーティー講座』は好感度で開催できた。活動自粛の中でサークル活動をするにあたり、消毒剤等の購入などに費用を捻出したり、やむを得ず休止や縮小し、発表の場がなくなったことから『サークル活動コロナ対策臨時助成金』の交付を行った。外出をセーブしている人の気持ちを変えていく方法の一つとして、また新たな来館者の増加に向け、講座のメニュー内容の開拓が必要と考える。施設管理面は、引き続き館内の日常清掃をシルバー人材センターへ委託、利用者には退出時の清掃・点検に加え、自分たちで使用箇所の消毒をすることを依頼し、常に美化と現状維持に心がけている。
	今後の目標	当館のあらたな活用として企画し反響の大きかった『ハーティー講座』を充実していくなど、いまだ新型コロナウイルス感染防止の影響がある中でできる取り組みを継続・拡大していく。活動自粛の中でも新規加入サークルもあり、活動したいができない「自粛」と、今できる状態でやっていく「活動」をうまく取り入れながら貸館・施設管理・文化公演事業のバランスを大切に、役職員の関係性をより良いものにつつつ個々のスキルアップに励みながら、一丸となって町民の文化意識の向上と芸術振興の拠点施設となるよう更に尽力していく。
施設所管課	所管評価	毎月の月例会では、施設利用状況、事業実施状況、収支等について報告をされており、年度計画に基づき業務を執行されている。令和2年度はコロナウイルスのため事業の中止やサークル活動の自粛があり、「サークル活動コロナ対策臨時助成金」の交付を独自で実施された。また、あらたな活用として「ハーティー講座」を令和2年度から実施され、令和3年度の本格稼働の基盤を作りあげるなど積極的な事業運営が行われている。
	指導事項等	指導事項は無い。

総合評価 (指定管理者選定審査委員会)	
C (良好)	適切な管理運営がされていると評価する。コロナ禍で事業や活動の自粛があり厳しい状況下で、財源確保や利用者増に向けた新しい事業を開始されており、引き続き創意工夫しながら町の文化振興に尽力いただくよう期待する。